

(Aランプ) 融雪ユニット配置図

検知部埋設ケーブル延長一覧表

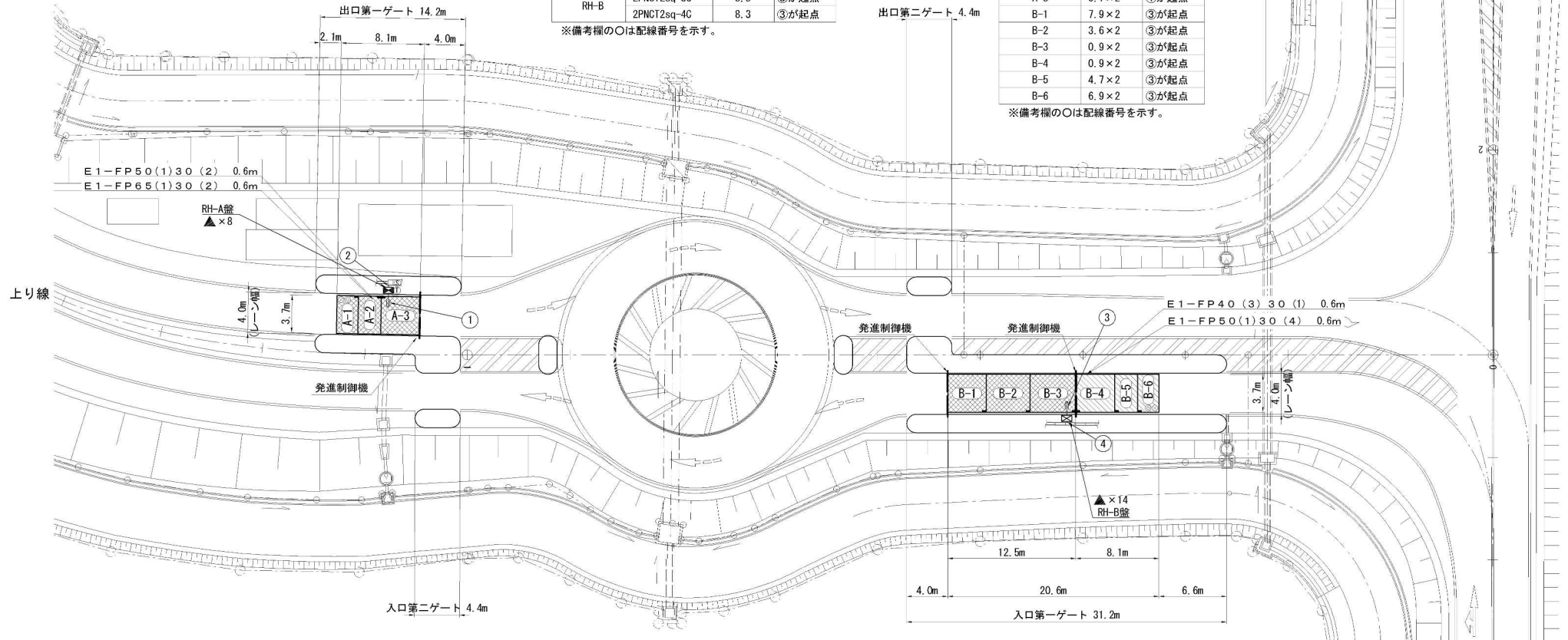
壁名称	項目	延長(m)	備考
RH-A	2PNCI2sq-3C	4.3	①が起点
	2PNCI2sq-4C	4.3	①が起点
RH-B	2PNCI2sq-3C	8.3	③が起点
	2PNCI2sq-4C	8.3	③が起点

※備考欄の○は配線番号を示す。

ユニット部埋設ケーブル延長一覧表 (RHVV5.5sq)

ユニット番号	延長(m)	備考
A-1	2.9×2	①が起点
A-2	0.7×2	①が起点
A-3	0.7×2	①が起点
B-1	7.9×2	③が起点
B-2	3.6×2	③が起点
B-3	0.9×2	③が起点
B-4	0.9×2	③が起点
B-5	4.7×2	③が起点
B-6	6.9×2	③が起点

※備考欄の○は配線番号を示す。



注：特記なき盤立上は1.0mとする。

▲：ケーブル銘板

電気式融雪設備仕様

電源種別	3φ3W 210V 50Hz									合計
設置箇所	出口第一ゲート(上り)				入口第一ゲート(上り)					
総電力量(kW)	3.91				6.06 (3.91)					9.97
施工面積(m ²)	29.99				46.58 29.99					76.57
設計発熱量(W/m ²)	130【優先エリア】				130【非優先エリア】					—
ユニット番号	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	—
端子電圧(V)	200									—
発熱線種別	HC-360	HC-360	HC-110	HC-110	HC-110	HC-110	HC-110	HC-360	HC-360	—
発熱線種別	強化高耐熱型第4種発熱線									—
1ユニットの含有面積(m ²)	7.73	8.27	13.99	13.99	15.87	16.72	13.99	8.27	7.73	—
発熱線折曲ピッチ(mm)	70	80	70	70	90	100	70	80	70	—
1ユニットの電力量(kW)	1.01	1.08	1.82	1.82	2.06	2.18	1.82	1.08	1.01	—
1ユニットの電流(A)	5.1	5.4	9.1	9.1	10.3	10.9	9.1	5.4	5.1	—
ユニット数(ユニット)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
制御区分	1									2
操作方式	四要素(路面温度、水分、降雪、外気温度)による自動及び手動【優先・非優先方式】									—

配管・配線表 (RHVV(リードケーブル)は高耐熱型を使用する)

番号	配線	配線長(m)	配管	配管長(m)	備考
①	RHV5.5sq×6	0.6	FP30(2)	0.6	A-1~3
	2PNCI2sq-3C、2sq-4C	0.6	FP50	0.6	路面水分、温度検知器(RH-A盤)
	CV5.5sq-3C	※	FP30	0.6	電源(RH-A盤)
	IV3.5sq	※	FP30	0.6	接地
②	CV3.5sq-2C	※	FP30	0.6	制御電源(RH-A盤)
	CVV-S2sq-12C	※	FP65	0.6	監視・運転信号ケーブル(RH-A盤)・(RH-B盤)
	CVV-S2sq-12C	※	FP30(2)	0.6	制御ケーブル(RH-B盤へ)
	RHV5.5sq×6	0.6	FP30(2)	0.6	B-1~3
③	RHV5.5sq×6	0.6	FP30(2)	0.6	B-4~6
	2PNCI2sq-3C、2sq-4C	0.6	FP50	0.6	路面水分、温度検知器(RH-B盤)
	CV22sq-3C	※	FP40	0.6	電源(RH-B盤) 優先用
	IV3.5sq	※	FP40	0.6	接地
④	CV14sq-3C	※	FP40	0.6	電源(RH-B盤) 非優先用
	CV3.5sq-2C	※	FP30	0.6	制御電源(RH-B盤)
	CVV-S2sq-12C	※	FP40	0.6	制御ケーブル(RH-A盤へ)

※別途工事で施工する。

(凡 例)

記号	名称
融雪制御分電盤	融雪制御分電盤
融雪分電盤	融雪分電盤
路面水分検知器	路面水分検知器
路面温度検知器	路面温度検知器
外気温度検知器	外気温度検知器
降雪検知器	降雪検知器
地中埋設配管配線	地中埋設配管配線
地中埋設配管端立上部	地中埋設配管端立上部
ヒータ接続部	ヒータ接続部
融雪優先範囲	融雪優先範囲
融雪非優先範囲	融雪非優先範囲

東北中央自動車道 天童南スマートIC舗装工事			
図面の種類	(Aランプ)融雪ユニット配置図		
縮 尺	1:200(A1) 1:400(A3)	図面番号	
設計会社名	アルファシステックス株式会社		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 山形管理事務所		

(Cランプ) 融雪ユニット配置図

ユニット部埋設ケーブル延長一覧表 (RHVV5.5sq)

ユニット番号	延長 (m)	備考
C-1	6.6×2	①が起点
C-2	2.4×2	①が起点
C-3	2.4×2	①が起点
C-4	10.9×2	①が起点
D-1	2.1×2	③が起点
D-2	0.6×2	③が起点
D-3	0.6×2	③が起点

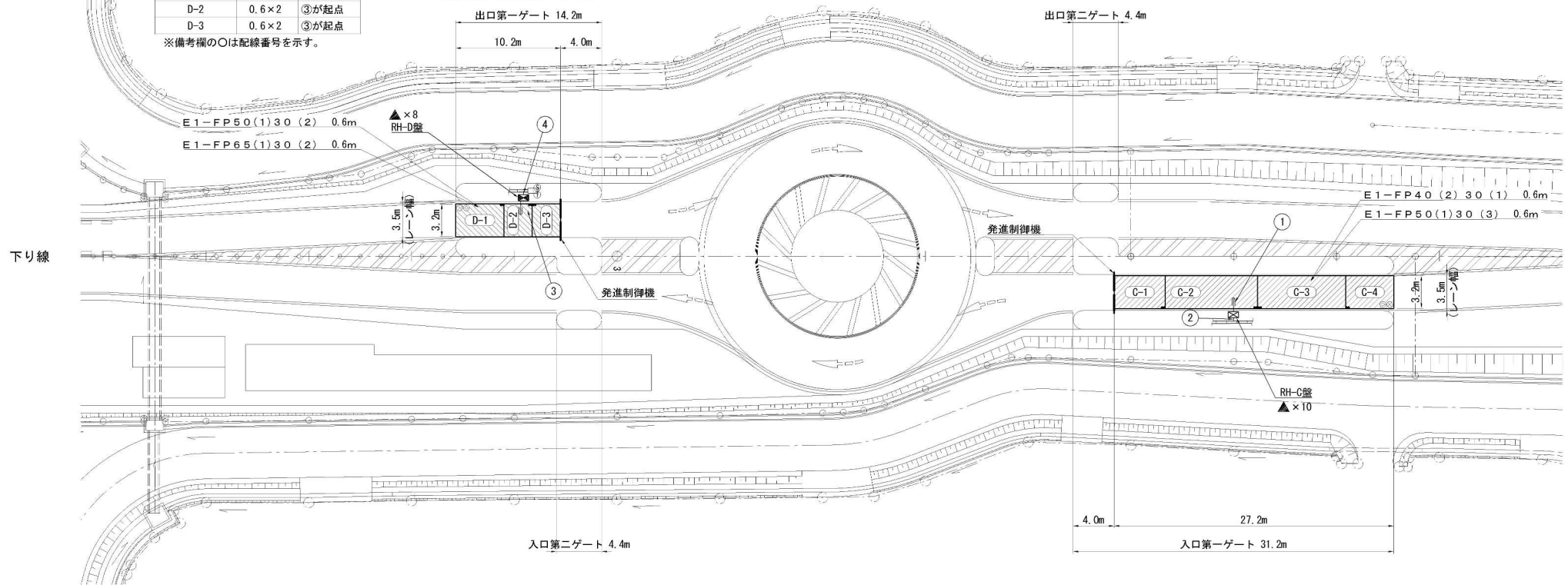
※備考欄の○は配線番号を示す。

検知部埋設ケーブル延長一覧表

壁名称	項目	延長 (m)	備考
RH-C	2PNC12sq-3C	14.9	①が起点
	2PNC12sq-4C	14.9	①が起点
RH-D	2PNC12sq-3C	6.4	③が起点
	2PNC12sq-4C	6.4	③が起点

※備考欄の○は配線番号を示す。

本資料には東日本高速道路網の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。



注：特記なき竝立上は1.0mとする。

▲：ケーブル銘板

電気式融雪設備仕様

電源種別	3φ3W 210V 50Hz						合計
設置箇所	入口第一ゲート(下り)			出口第一ゲート(下り)			
電力量(kW)	11.31			4.22			15.53
施工面積(m²)	87.03			32.50			119.53
設計発熱量(W/㎡)	130						
ユニット番号	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1,2	D-3	
端子電圧(V)	200						
発熱線種類	HC-110	HC-37	HC-37	HC-110	HC-360	HC-110	—
発熱線種類	強化高耐熱型第4種発熱線						—
1ユニットの含有面積(m²)	15.87	28.84	27.36	14.96	8.77	14.96	—
発熱線折曲ピッチ(mm)	90	100	90	80	90	80	—
1ユニットの電力量(kW)	2.06	3.75	3.56	1.94	1.14	1.94	—
1ユニットの電流(A)	10.3	18.8	17.8	9.7	5.7	9.7	—
ユニット数(ユニット)	1	1	1	1	2	1	7
制御区分						1	2
操作方式	四要素(路面温度、水分、降雪、外気温度)による自動及び手動						

配管・配線表 (RHVV (リードケーブル) は高耐熱型を使用する)

番号	配線	配線長 (m)	配管	配管長 (m)	備考
①	RHVV5.5sq×8	0.6	FP30 (3)	0.6	C-1~4
	2PNC12sq-3C, 2sq-4C	0.6	FP50	0.6	路面水分、温度検知器 (RH-C壁)
	CV14sq-3C	※	FP40	0.6	電源 (RH-C壁)
	IV3.5sq	※			接地
②	CV3.5sq-2C	※	FP30	0.6	制御電源 (RH-C壁)
	CVV-S2sq-12C	※	FP40	0.6	制御ケーブル (RH-D壁へ)
③	RHVV5.5sq×6	0.6	FP30 (2)	0.6	D-1~3
	2PNC12sq-3C, 2sq-4C	0.6	FP50	0.6	路面水分、温度検知器 (RH-D壁)
	CV5.5sq-3C	※	FP30	0.6	電源 (RH-D壁)
	IV3.5sq	※			接地
④	CV3.5sq-2C	※	FP30	0.6	制御電源 (RH-D壁)
	CVV-S2sq-12C	※			監視・運転信号ケーブル (RH-C壁)・(RH-D壁)
	CVV-S2sq-12C	※	FP65	0.6	制御ケーブル (RH-C壁へ)
					接地

※別途工事で施工する。

(凡 例)

記号	名称
融雪制御分電盤	融雪分電盤
融雪分電盤	融雪分電盤
路面水分検知器	路面水分検知器
路面温度検知器	路面温度検知器
外気温度検知器	外気温度検知器
降雪検知器	降雪検知器
地中埋設配管配線	地中埋設配管配線
地中埋設配管端立上部	地中埋設配管端立上部
ヒータ接続部	ヒータ接続部
融雪範囲	融雪範囲

東北中央自動車道 天童南スマートIC舗装工事			
(Cランプ) 融雪ユニット配置図			
図面の種類	縮 尺	1:200 (A1) 1:400 (A3)	図面番号
設計会社名	アルファシステックス株式会社		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 山形管理事務所		